

教材名	「二わのことり」	日本文教出版 1年 P90	光村図書 1年 P87
		学校図書 1年 P22	学研教育みらい 1年 P114
内容項目	友情 信頼	光文書院 1年 P116	東京書籍 1年 P83
		廣済堂あかつき 1年 P90	

1. 本教材について（教材の問題点を中心に）

やまがらの誕生日とうぐいすの音楽の練習。どちらを選ぶとなった時、華やかなうぐいすの方を多くの鳥が選んだ。うぐいすは明るいところに住み、やまがらは薄暗いところに住む。みそさざいは、せっかく招待状をもらったのにやまがらのところへ誰も行かないことを気の毒に思い、一度はうぐいすのところへ来たが、自分だけ、やまがらの元に行く。やまがらは誰も来てくれないと失望していたところに、みそさざいだけでも来てくれたので喜び、みそさざいの思いやりの心に感動するのである。

一見、みそさざいの「思いやり」にやまがらは感動し、『思いやり』って大切だよね」という終末に何ら問題がないようにも思える。

しかし、これが本当にやまがらにとっての最善の結果だったのか。みそさざいの行動は、これで本当に良かったのだろうか。次のような問題も考えられる。

- ①やまがらは、みんなが来てくれるつもりで、準備をしていたのに、用意していただろう「こと」や「もの」は無駄になったのである。つまり、来てくれないよりは、ましだっただけである。
- ②やまがらは、「他の鳥たちはどうして来てくれなかったんだろう…」という悲しい思いは残るであろう。また、みそさざいの気持ちはどうか。
- ③勝手にみそさざいだけうぐいすの家を抜け出したのだから、後日、みそさざいはどうしたのだと聞かれるであろう。場合によっては、他の鳥たちとの関係性を悪くする危険性もある。

みそさざいの行動は、本当の意味で相手のことやみんなのことを考えたものといえるのだろうか。また、みそさざいの自己犠牲的な行動のみが正解だという解釈になったとすれば、偏った導きにならないだろうか。

2. 本教材実践のヒント（改善への方向性）

子ども達には、このようなジレンマ問題が起こった時、どう行動すれば、相手を思いやることになるかを考えさせたい。初めから、教材文にあることを読んでしまうと、そこにある問題に気づくことは少なくなるなると考えられるので、みそさざいが行動を起こす前のところまでを提示したい。

子ども達には、みそさざいの心情や行動を理解させるだけでなく、このような状況になった時、自分の気持ち、やまがら、うぐいす、鳥たちの気持ちを考えるとどのように行動したらよいのかということを考え、話し合わせる。様々な可能性から結末を想像し、選択できるとよい。

例えば、みそさざいがやまがらのところに行かずに、後で謝るという行動をした場合、やまがらはどう思うのだろうか。また、うぐいすの会場を抜け出して、やまがらのところに行った場合、みそさざいのことを、うぐいすや他の鳥たちはどのように思うだろう。などである。

このような議論の中で、みそさざいは会場を抜け出すのではなく、事情を話し、うぐいすや他の鳥たちも誘って、やまがらのところに行くことを選択肢にすることも気づけるのではないか。

人とつながっていくために、様々な方法を見出せる力をつけられる授業になればよいと考える。

3. 指導過程

《めあて》

みそさざいの状況をもとに、行動の結果を予想することで、どのように行動すれば、自分と相手だけでなく、みんなの関係性を良くしていく行動になりえるかを考える。

	子どもの活動や教師の発問等	留意点
導入	<p>○二人の友達、別々に遊びに誘われたことがあるか もし、そんなことになったらどうするかを問う。</p> <p>○教材文を（P93 18）まで読む</p>	<p>○身近なことを思い起こさせ、教材とつなげる</p> <p>○教材文をプリントし、結末まで読ませないようにする</p>
展開	<p>○鳥たちの気持ちを考え、どのようにしたらよいのかを話し合う。</p> <p>1. みそさざいは、どうしてまよっているのでしょうか。</p> <p>2. なぜうぐいすの方を選んだのでしょうか。</p> <p>3. みそさざいが楽しくなかったのはなぜでしょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>みそさざいはどうしたらよいのでしょうか。</p> </div> <p>【予想される意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後でやまがらに謝る ・ 途中でやまがらのところへいく ・ うぐいすにやまがらのことを話し、みんなで、やまがらの家に行くように話す。 	<p>○どちらとの約束も大切にしていたかったことを確認する</p> <p>○ワークシートに吹き出しをつけて、うぐいすを選んだ気持ち、やまがらを思う気持ちを書いて、葛藤する様子を想像できるようにする。</p> <p>○解決法を考えるとともに、その結果、それぞれの鳥がどんな思いになるかを想像しながら話し合う。</p>
まとめ	<p>○教材を最後まで読む。</p> <p>○相手のことを思って大切にするには、どのような解決がよかったかを振り返ってワークシートに書く。</p>	<p>○教科書の結末が正解というわけではないこと、前の話し合いでみそさざいがとった行動と同じものがでなければ、それぞれの鳥がどのような思いになるかを確認する。</p>